

# 法人名 (公社)山梨県農業用廃プラスチック処理センター

公益法人用

## 【法人の概要】

代表者名	關本 得郎	所管部(局)課	農政部果樹・6次産業振興課		
所在地	南アルプス市高田新田字川東33の1	電話番号	055-284-0938		
ホームページURL		E-mail アドレス	haipura@alpha.ocn.ne.jp		
資本金(基本財産)	31,305 千円	設立年月日	昭和51年11月1日		
主出資者等	出資順位	出資者名等	出資額		出資比率
	1	山梨県	15,000	千円	47.9 %
	2	市町村(14)	11,796	千円	37.7 %
	3	全国農業協同組合連合会山梨県本部	1,630	千円	5.2 %
	4	山梨県信用農業協同組合連合会	435	千円	1.4 %
	5	全国共済農業協同組合連合会山梨県本部	435	千円	1.4 %
	6	特別基金	2,009	千円	6.4 %
	7			千円	0.0 %
	8			千円	0.0 %
	9			千円	0.0 %
	10			千円	0.0 %
	出資その他	団体(者)		千円	0.0 %
	その他			千円	0.0 %
	合計		31,305	千円	100.0 %
設立経緯等	昭和49年に農業用廃プラスチック処理の株式会社として県も出資して設立したが、昭和51年8月に会社は解散。昭和51年11月に財産を引き継いで社団法人として設立、その後、平成25年4月1日に公益社団法人に移行した。				

## 【主要事業の概要】

事業名	内容	事業費(単位:千円)			
		H25年度	H26年度	H27年度	
事業1	農業用廃プラスチックの収集・処理	同左	31,597	31,532	32,039
事業2					
事業3					

## 【組織】

	年度	平成26年度					平成27年度					平成28年度							
		職プロパー	県職員派遣	県職員兼務	県OB	その他	職プロパー	県職員派遣	県職員兼務	県OB	その他	職プロパー	県職員派遣	県職員兼務	県OB	その他			
4月1日現在の人員																			
役員等	理事(常勤)	1			1		1			1		1			1				
	理事(非常勤)	14		3		11	14		3		11	14		3		11			
	監事(常勤)	0					0					0							
	監事(非常勤)	2				2	2				2	2				2			
	評議員	0					0					0							
	計	17	0	0	3	1	13	17	0	0	3	1	13	17	0	0	3	1	13
職員	管理職	1				1	1				1	1				1			
	一般職員	1	1				1	1			1	1				1			
	臨時職員	1				1	1				1	1				1			
	非常勤職員	0					0				0					0			
	計	3	1	0	0	0	2	3	1	0	0	0	2	3	1	0	0	0	2
プロパー職員の年齢構成(H29. 4. 1現在)		年齢	~20	21~30	31~40	41~50	51~60	61歳以上	合計		平均年齢	平均年収							
		男性					1		1	役員常勤	※	(千円) ※							
		女性							0	職員常勤	※	(千円) ※							
		合計	0	0	0	0	1	0	1										

※常勤役員、常勤職員は各1名のため、個人情報保護の観点から、非公表。

【経営の状況】

(単位:千円)

項 目		25年度	26年度	27年度	増減(27-26)
正味財産の状況	基本財産等運用益	7	7	8	1
	受取会費・受取寄付金	6,380	6,272	6,187	△ 85
	受託事業収益	0	0	0	0
	自主事業収益	25,285	25,304	25,841	537
	受取補助金等	0	0	0	0
	その他の収益	100	23	5	△ 18
	経常収入 計	31,772	31,606	32,041	435
	事業費	25,545	25,460	25,864	404
	うち人件費	11,733	11,808	11,759	△ 49
	管理費	6,052	6,072	6,176	104
	うち人件費	1,898	1,900	1,894	△ 6
	経常支出 計	31,597	31,532	32,040	508
	当期経常増減額	175	74	1	△ 73
	経常外収入	0	0	0	0
	経常外支出	0	0	0	0
	当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	175	74	1	△ 73	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	
正味財産期末残高	50,317	50,390	50,391	1	

(単位:千円)

項 目		25年度	26年度	27年度	増減(27-26)
財務状況	流動資産	6,764	6,466	6,889	423
	固定資産	50,335	50,330	50,658	328
	資産 計	57,099	56,796	57,547	751
	流動負債	4,265	3,522	3,944	422
	うち短期借入金	0	0	0	0
	固定負債	2,517	2,884	3,212	328
	うち長期借入金	0	0	0	0
	負債 計	6,782	6,406	7,156	750
	正味財産	50,317	50,390	50,391	1
	うち基本財産への充当額	16,305	16,305	16,305	0
うち特定資産への充当額	12,293	14,191	16,278	2,087	

(単位:千円)

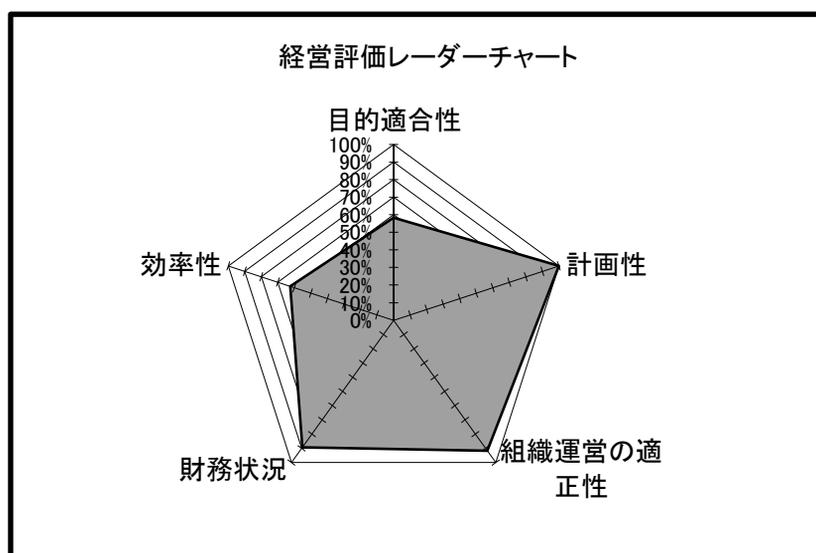
項 目		25年度	26年度	27年度	増減(27-26)
県の財政的関与の状況	負担金	1,595	1,568	1,543	△ 25
	人件費補助金				0
	人件費以外の補助金				0
	運営費補助金	0	0	0	0
	事業費補助金				0
	補助金 計	0	0	0	0
	人件費委託金				0
	人件費以外の委託金				0
	委託金 計	0	0	0	0
	県支出金 計	1,595	1,568	1,543	△ 25
	県の財政的関与の割合(%)	5.0	5.0	4.8	△ 0
県貸付金残高				0	
県債務負担実際残高				0	

【県の財政的関与の内容・目的・金額】

項目	内容・目的・金額
負担金	県、市町村、農協、農家が管理費を均等(1/4)に負担 (H27県負担金 1,543千円) ※農家は会費として納入。
補助金 (運営費)	
補助金 (事業費)	
委託金	
債務負担行為	

【自己評価・評点集計】:(経営評価算出表により、法人自らが評価した結果を記入)

評価の視点	評価ポイント	評価項目数	満点	評点	得点率
目的適合性	出資法人が当初の設立目的あるいは公益目的と適合した業務を行っているかを問う視点	3	12	7	58.3%
計画性	出資法人が長期的ビジョンを持って計画的に事業運営に取り組んでいるかを問う視点	3	12	12	100.0%
組織運営の適正性	組織・人事・財務等の内部管理体制が適切に整備、運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切であるかを問う視点	3	12	11	91.7%
財務状況	出資法人の経営の安全性や収益性を問う視点	7	56	50	89.3%
効率性	出資法人の組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているかを問う視点	4	16	10	62.5%
合計		20	108	90	83.3%



【警戒指標】

--

【出資法人の自己評価】:(各評価の視点毎に、法人自らによる分析・検証の結果及び対応策を記入)

目的適合性	県内の農業生産現場から排出される農業用廃プラスチックを適正に処理するという目的に適合した業務を行っている。
計画性	定款・業務方法書により計画的に運営している。また、平成25年度に経営計画を改定した。
組織運営の適正性	現在の業務方法書において、組織運営上、最少人数で運営している。また、HPの開設をするなど、情報公開も行っており透明性の確保に努めている。
財務状況	分別の徹底による有価取引量を拡大するとともに、最終処分量の削減に努め、経費削減に取り組んでいる。
効率性	平成20年度より現場作業員を2名削減、21年度より更に1名、22年度に更に1名削減している。また、収集業務を廃止するとともに、最終処分物も三種類に分別し、それぞれの価格設定により大幅な処理コスト低減を図っている。
総合的評価	有価物取引の導入、最終処分物の細分化への取り組み等、処理方策の改善により事業費総額の削減に努めている。



対応策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業用廃プラスチックの加工処理に係る施設、設備の更新を行わない。</li> <li>・取引業者との連携を強化し、分別の徹底により有価物としての取引を進め、最終処分に係る処理経費の削減への取組を更に強化する。</li> <li>・中長期的な経営の合理化を図るため、平成25年度に改定した経営計画を着実に実施していく。</li> </ul>
-----	--

【法人担当部局の所見】:(法人所管部局による各評価の視点毎の分析、評価)

目的適合性	農業用廃プラスチックを適正に処理し、自然的、社会的公害の未然防止を図っており、設立目的及び公益目的に適合している。ただし、リサイクル率が低下傾向にあることが課題であり、所要の措置を講ずる必要がある。
計画性	「山梨県農業用廃プラスチック処理センター経営計画」及び「年度事業計画」等に基づき、経営改善に向けた具体的な改善策を講じている。引き続き取り組みを継続していく必要がある。
組織運営の適正性	最小限の組織体制で適正な運営に努めているが、引き続き、内部管理体制の適切な運用と、組織の透明性の確保に積極的に努める必要がある。
財務状況	引き続き、中長期的視野に立って、排出者である農家負担の見直しや適正な処理料金の設定を検討するとともに、分別の徹底による有価取引量の拡大による収入の確保や最終処分量の削減による経費削減に取り組んでいく必要がある。
効率性	引き続き経費削減等の経営改善を進め、効率的な経営に努める必要がある。
総合的評価	現行の運営体制は簡素化が進んでいるが、農業用廃プラスチックのより低コストで効率的な処理を一層推進するため、平成25年度に改定した経営計画に基づき、引き続き経営改善を進め、収益の確保による安定した経営と効率的な経営に努めていく必要がある。

【総合評価】:(経営評価委員会、経営検討委員会による総合評価)

総合的所見	<div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 20%;"> <p><b>A</b></p> <p>得点率 80%以上 かつ 警戒指標なし</p> </div> <div style="border: 2px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 20%;"> <p><b>B</b></p> <p>得点率 70%~80% または 警戒指標が1</p> </div> <div style="border: 2px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 20%;"> <p><b>C</b></p> <p>得点率 60%~70% または 警戒指標が2</p> </div> <div style="border: 2px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 20%;"> <p><b>D</b></p> <p>得点率 60%未満 または 警戒指標が3以上</p> </div> </div>
	<p>※ ランク下の%は得点率の範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2期前と比べて流動比率が上昇したこと、前年度よりもわずかに人件費が減少したことで財務状況、効率性の評価が改善するなどした結果、A評価となった。</li> <li>・管理費については、県など関係機関からの負担金により財源が確保されているが、搬入量等や処理量に占める有価販売割合の減少、またこれに伴う有価販売収入の減少が課題である。目標としているリサイクル率も3期連続で達成できず、目的適合性の評価も下がっている。</li> <li>・経営計画に基づき、搬入量維持に向けた関係機関との連携や、分別の徹底による有価販売割合の増加に引き続き取り組むとともに、更なる処理経費の削減に努める必要がある。</li> </ul>



【総合所見等に対する今後の対応方針】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・分別処理を専門に行うプロパー職員を1名しか配置できず、労力が限られているが、経営計画に基づき、引き続き、農業用廃プラスチックの分別を徹底し、リサイクルや有価販売に努めるとともに、経費の削減や安定的な運営経費の確保等に努めていく。</li> <li>・中国経済の減速や原油安の影響など、有価販売面で廃プラスチックを取り巻く情勢は依然として厳しいが、安定した受け入れ先の維持確保に努めていく。</li> <li>・農業用廃プラスチックの搬入量を維持増加させるため、昨年度末にホームページを立ち上げ、情報発信を行ってきた。今後は、当センターの活動をさらに知らしめるため、広告資材を作成・配布する等していく。また、関係機関と連携して、農家等に対して適正な分別排出等の意識啓発に努めていく。</li> </ul>
---